

# 宗教を信じる(信念、信仰)とは いかなることか？

－実証的宗教心理学の挑戦(4)－

企画・司会：松島公望(東京大学)

日本心理学会第89回大会  
公募シンポジウム

[宗教心理学研究会 第22回研究発表会]

# シンポジウムの構成

## 【話題提供】

1. 宗教学において「信じる・信仰」はどのように語られているか  
藤井修平（國學院大學）
2. 祈りから読み解く「信じる」プロセス：実証研究と体験を通して  
袋本久美子（関西大学大学院）

### 3. 精神科臨床と宗教的契機—定点性をめぐって—

小笠原將之(関西福祉科学大学)

### 4. 「信念・信仰」から宗教性は捉えられるか 西脇 良(南山大学)

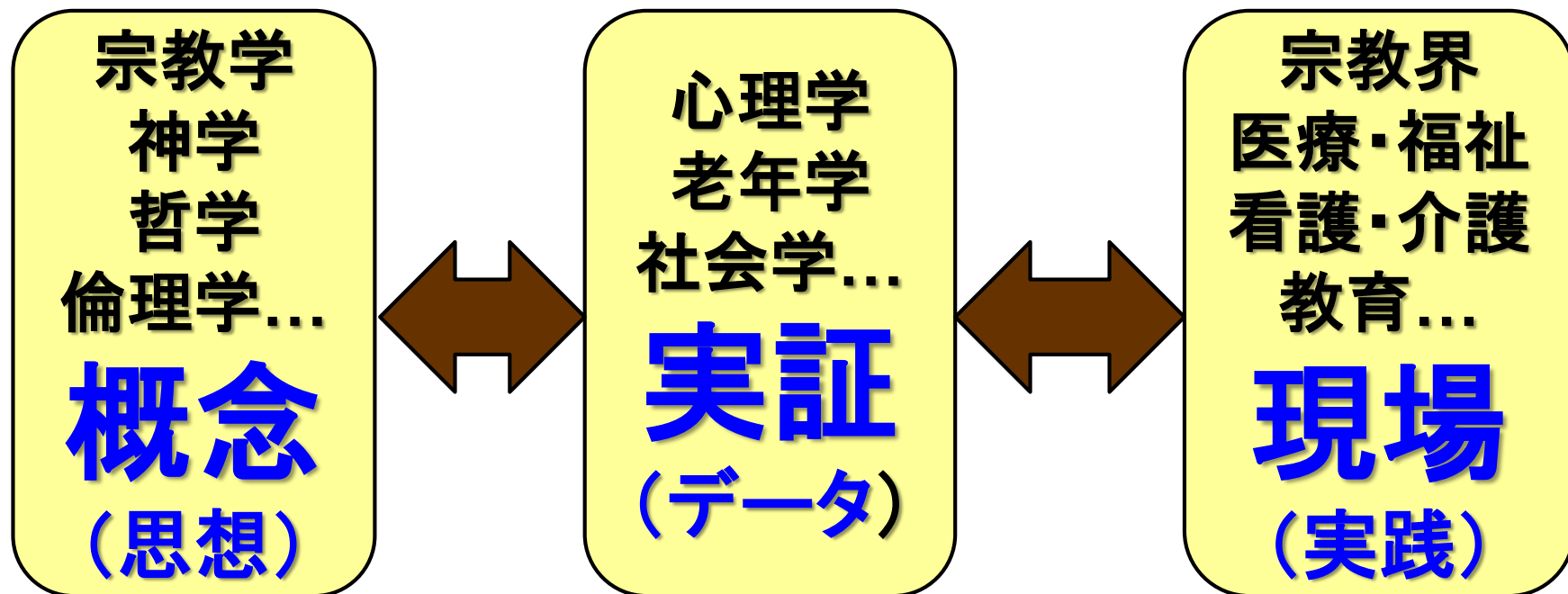
## 【指定討論】

河村従彦(カワムラカウンセリングルーム)

## 【フロアとの討論】

～「信じるとは何か」を再考する機会としたい

今回のテーマを始め、捉えることが困難である宗教、スピリチュアリティを追究していくための**新たな連携・協働（新たな挑戦）**の提案



**起点(母体):**宗教心理学会、宗教／スピリチュアリティ心理学会研究、  
「ユダヤ－キリスト教的文脈の脱構築を試みる宗教性／スピリチュアリティの実証的研究」に関する研究プロジェクト [プロジェクトの一部門が「**2021年度(第1回)**  
**日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞**」を受賞]

～そして、その先に描くのが～

“アジアとの対話、ユダヤ－キリスト教的文脈との対峙”

⇒実証的宗教心理学を起点とする「日本発の理論構築」への取り組み  
その一歩が今回のシンポジウムである